

2021 年 11 月 17 日
東京海上ホールディングス株式会社

認知症の早期発見・予防の取り組みに向けた Splink 社との資本業務提携について

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 小宮 暁、以下「当社」)は、認知症の早期発見・予防による社会課題解決に向けて、今般、株式会社 Splink(日本、CEO 青山 裕紀、以下「Splink 社」)と資本業務提携を行いましたのでお知らせします。

1. 背景・狙い

国内の認知症の方の数は 2025 年には 730 万人、2050 年には 1,016 万人(平成 26 年度厚生労働省発表)になると推計されています。認知症は徐々に進行し自覚しにくいいため、発見が遅れ、治療を開始する適切なタイミングを逃してしまうことが課題となってきましたが、現在は、認知症の早期発見や治療における研究開発が、国内外において日々進展しています。研究開発が進む中で、「認知症を早期発見し、生活習慣改善などの適切な予防を行うことによって発症を遅延させることができる」とする研究成果も多数報告されています。

これまで当社は、認知症領域に関する様々な取り組みを行ってきましたが、認知症の早期発見・予防による社会課題解決に向けた取り組みを更に加速させていくため、Splink 社と資本業務提携することといたしました。

2. 取組み概要

当社と Splink 社は、戦略的パートナーシップに基づき、認知症の早期発見・予防のためのソリューションを共同で研究・開発してまいります。これまで当社が取り組んできた「お客様の“いざ”を支える」だけではなく、日常生活の変化や疾患を早期に発見・予防し「お客様を“いつも”支える」ことで、社会課題に対する安心・安全を提供するソリューションプロバイダーとして新たな価値提供を目指します。

3. Splink 社の概要 (<https://www.splinkns.com/>)

Splink 社は、ブレインヘルスケア領域の医療 AI を提供するテクノロジー・スタートアップです。「すべての人につながりを、その日まで」というビジョンのもと、注力領域である認知症における医療機器プログラムおよび AI ソリューションの開発、提供を行っています。

認知症という高齢化社会における大きな課題に対し、健常段階の予防から発症後も共生できる社会に寄与すべく、認知症の予防から診断まで一貫したソリューションをワンストップで提供しているのが特徴です。

(1) 社名	株式会社 Splink
(2) 本社所在地	東京都千代田区霞が関 3 丁目 3-2 新霞が関ビル 18 階
(3) 代表者	代表取締役 青山 裕紀
(4) 主な事業内容	・ ブレインヘルスケア事業 ・ ヘルスデータ基盤事業
(5) 設立年	2017 年 1 月

以 上